



地域担当職員が行く！
地域活動の取材レポート

小曽根小学校区

防災研修

(主催団体：小曽根小学校区地域自治協議会 共催：小曽根校区女性防火クラブ)

事業の概要

日時：平成 29 年(2017 年)5 月 20 日(土)

午前 8 時 50 分～午後 6 時 30 分

場所：京都府南丹市美山町

かやぶきの里（重要伝統建造物群保存地区）

参加者：約 50 名



事業内容

- ① 日本の原風景が残る里での防災訓練（一斉放水）見学
- ② 知井振興会「住みよい安心安全な町づくり委員会」事務局長との意見交換会

当日の様子

小曽根校区では、避難所開設訓練等、校区単位の防災訓練をこれまで7回実施するなど、防災に特化した取組みをすすめています。毎年、協議会の防災研修を計画しており、今回は京都府南丹市美山町の火災に備えた防災訓練を見学しました。



かやぶき民家 38 軒が点在する重要伝統的建造物群保存地区になっており、平成 12 年（2000 年）5 月に美山民族資料館が不審火で焼失したのをきっかけに、毎年 5 月と 12 月に放水をしています。



この地域では、住民と行政が連携したまちづくりをめざし、平成 13 年（2001 年）に知井振興会を設立しました。10 集落中 4 集落が限界集落で、5 年後には 2 人に 1 人が 65 歳以上になると言われている、典型的な少子高齢化の地区です。

独居老人の引きこもり解消に向けた取組みや、廃校した小学校を活用した山村留学の取組みなど、積極的に地域活動をすすめておられる話を伺いながら意見交換を図りました。

当日は、気温 30 度の初夏にも関わらず、5 分間の放水訓練を目当てに、たくさんの写真愛好家を含む約 5 千人もの観光客が訪れていました。日本の原風景そのままの町並みに、美しい水のループが交じり合う景色は、圧巻でした！！

知井振興会の事務局長との意見交換会では、山村地域ならではの隣近所のつながりづくりや、情報伝達手段として市が整備している防災無線の活用、限界集落による独居老人の引きこもり防止策など、貴重なお話を伺えました。

